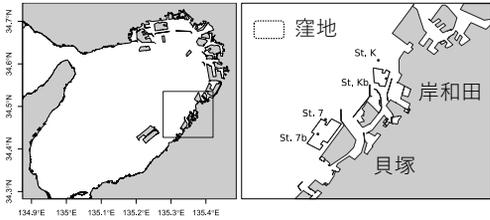


# 浚渫窪地埋め戻しによる環境修復効果

水産研究部 海域環境グループ

## 背景と目的

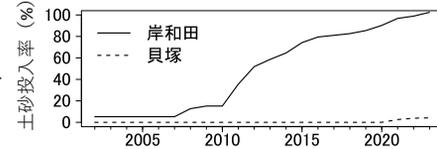


### 浚渫窪地

- 埋め立て用材確保のため海底を浚渫してできた凹状の地形
- 窪地内は水の交換性が悪く、底質の悪化や貧酸素化が頻発



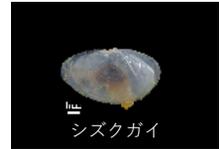
窪地内の環境悪化を受けて修復



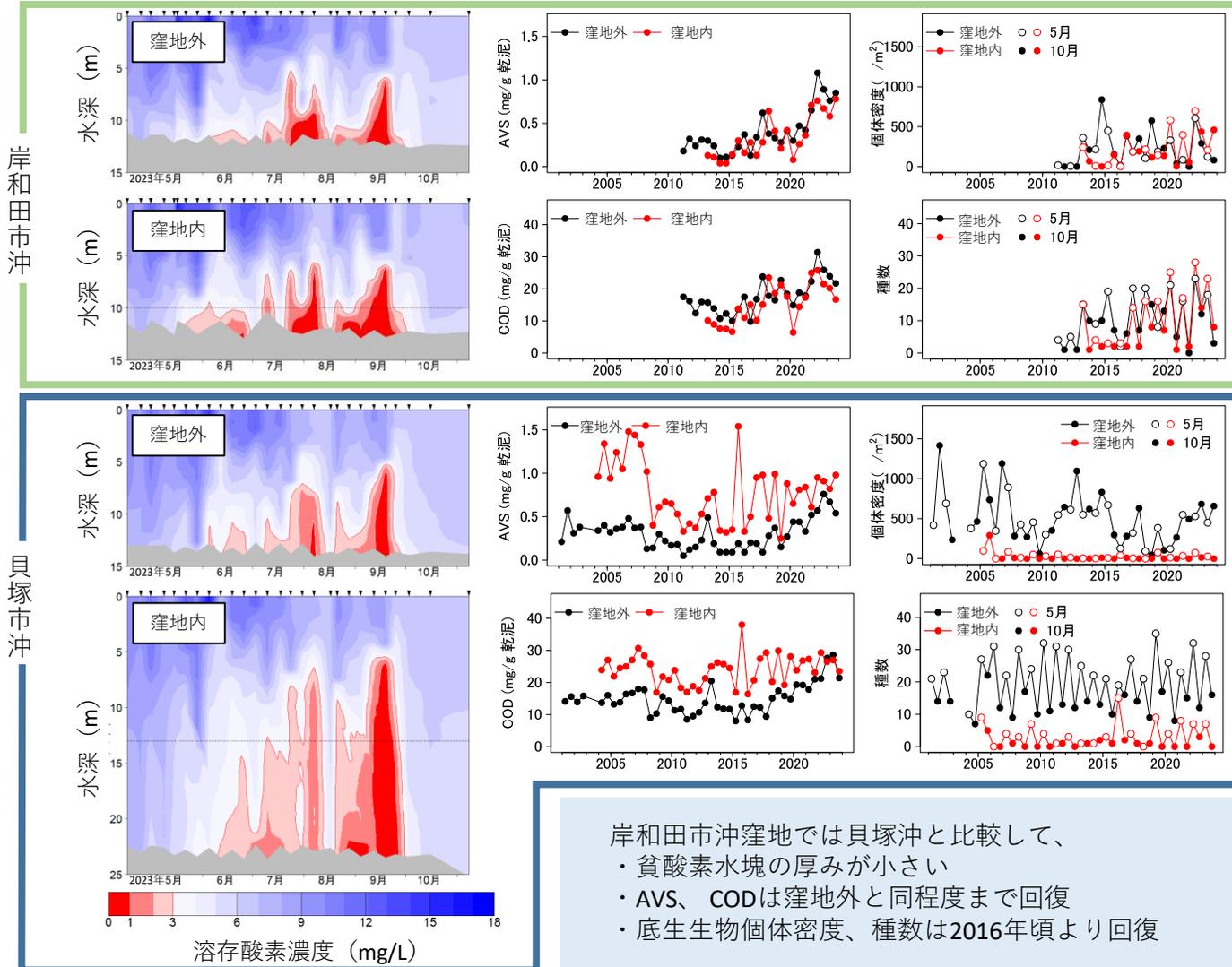
**目的** 埋め戻しの進んだ岸和田市沖と着工から間もない貝塚市沖を比較し、環境修復効果を検討する

## 方法

**水質**：CTD（自動水質観測装置）による溶存酸素濃度の観測  
**底質**：AVS（酸揮発性硫化物）、COD（化学的酸素要求量）  
**底生物**：個体密度、種数



## 結果



岸和田市沖窪地では貝塚沖と比較して、

- 貧酸素水塊の厚みが小さい
- AVS、CODは窪地外と同程度まで回復
- 底生物個体密度、種数は2016年頃より回復

## 考察

貝塚市沖では窪地内で悪環境であるのに対し、埋め戻しの進んだ岸和田市沖では窪地内外の差が小さいことから、岸和田市沖では埋め戻しによる環境改善が示唆されました。